

~第2章~ 愛-Love☆日高!



2020年12月4日
No.32

2学期末考査が終了し、いよいよ12月(師走)! 今年の流行語大賞は、何と「三密」!! (全然嬉しくない...)

ここ数年のご多分に漏れず、今シーズンも「雪不足」のシーズン幕開けとなりました。富良野スキー場はこの季節、「昨年だけ」は降雪に恵まれましたが、私のホームゲレンデ：旭川カムイスキーリンクスに至っては、年明けまで雪不足が続き、予定していたインターハイ道予選が行えず、道東のぬかびらへの会場変更を余儀なくされました。「地球温暖化」、厄介な問題ですが、今はそれにも増しての「コロナ禍」…。そして毎年紹介しているユーキャン新語・流行語大賞は、凶らずも、『三密』に決定!! 今冬、「日高最後のスキーシーズン」をともに過ごせるよう、感染リスクを避けつつ環境保護に努めていきましょう!

来週は本格的な『富良野 SKI WEEK』、頑張ろう!!

今週の「愛」の格言

『我々は自分が愛するものを手にしているが、
欲望によってその愛を自ら失う。』

by ラルフ・ウォルドー・エマーソン(1803-1882) について

Ralph Waldo Emerson は、アメリカ合衆国の哲学者・思想家・作家・詩人・エッセイスト。アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンに生まれる。18歳でハーバード大学を卒業し21歳までボストンで教鞭をとる(超・優秀!)。その後ハーバード神学校に入学し、伝道資格を取得し、牧師になる。「自由信仰」のため教会を追われ渡欧、ワーズワース、カーライルらと交わる。帰国後は個人主義を唱え、米文化の独自性を主張した。エマーソンは次第に当時の宗教的社会的信念から離れ、1836年の評論'Nature'において、超越主義哲学を世に打ち出した。続いて草分け的な仕事として1837年に'The American Scholar'と題した演説を行い、オリバー・ウェンデル・ホームズ・シニアは、アメリカの「知的独立宣言」であると評した。1830年代半ばから1840年代半ばにかけての10年間は、講演や評論に関する執筆本も数多く、最も実り多い時期となった。彼の評論は後の思想家、著述家、詩人に大きな影響を与え、自身の中心教義を一言にすると、「個人の無限性」であると語った。ピューリタニズムとドイツ理想主義の流れをくみ、「超絶主義」を唱えたとされる。

代表作には、「自然論」「エッセイ集」「偉人論」などがある。「コンコードの賢者」と呼ばれ、数々の人々に影響を与えたエマーソンであるが、1867年頃より体調が悪化、晩年は記憶障害や言語症を患い、1882年4月、マサチューセッツ州コンコードにて79年の生涯を終えた。

今回の格言は、私たちにとって「戒め」とすべきものです。『「欲望」はせっかく手にした「愛」を失わせる行為』だと、エマーソンさんは伝えてくれています。彼の残した格言・名言は数多くありますが(詳しくはネットなどで調べてください。現代でも通じる素晴らしい格言・名言が沢山あります!)、スキーヤーの私が「なるほど」と思ったものとして、「氷の上を滑る時には、スピードを出した方が安全である。」というものがありました。さすがは「コンコードの賢者」エマーソンさん。その通りで、雪や氷の上は「ゆっくりの方が難しい」のです!

話は逸れましたが、健一学級の皆様、「欲望」ばかりを求めて大切な「愛」を失ってしまわないよう、十分に気を付けていきましょう(^^) 己の欲望ばかりを満たそうとするなかれ。

☆元志の志☆

◇「高校時代の友は一生の友」と言う人は多い。現に私も、久しぶりに会う友人の多くは高校時代を共に過ごした人である。その理由を考えてみたところ、おそらく大

変な3年間を共有した経験が、互いの結びつきを強くさせるのではないかと結論に到った。

◆小中と違い、高校は校則や授業が厳しくルールも多ければ敵（先生や先輩、他校の生徒）も多い。その中で同じクラス・部活のメンバー同士が結束するのは想像に難（かた）くないし、私にも覚えがある。◇そしてこれはみなさんも例外ではない。しかし、何も10人全員仲良く大人になっても集まれと言いたいわけではない。**一生の友など2、3人で十分であるし、少なくとも1人くらいは、『日高はマジ大変だったな』と後になって話せる友人がいても良いと思うのだ。**しばらく会ってなかったとしても、久しぶりに会った瞬間、当時の気持ちが蘇るので**お楽しみに！**

保護者の皆様へ

今週もお疲れさまです！今週、何件かのお宅へ産学職員より連絡が入ったかと思いますが、最近の産学出席状況が全体的にかなり悪いです（加えて高校も・今年度に入り、皆勤日が「10日」を数えたことが「一度も」ありません・・）。日々、欠席・遅刻のオンパレード・・3年生になって「退化（怠化!?）」してしまった部分があることは否めません。日高町から多大なる経費拠出をいただいている産学活動を、決して疎かにして欲しくはありません。むしろ、お世話になった町への「恩返し」を在学中は勿論、卒業後も何かしらの形でして欲しいと願ってやまないのですが。

産学活動の記録

今週の担当は、SHUNGOくん(^_^)v 初・富良野スキーを終えた今週のコメントです^_^!



令和 2年 11月 21日 金曜日	～	12月 3日 木曜日	担当 田中 俊博
<今週の採点> 最弱1週間 ← 5 ・ 4 ・ ③ ・ 2 ・ 1 → 最弱1週間			
<今週の感想> スキもあり大変な1週間でした。本日(26日)の上級班は富良野でのスキーが始まりました。来週月曜日にはスリットでのスキーもあるので スキンズを買い、上レベルアップしていきたいです。→皆でバレンタイン			
<卒業が迫ってきて一言！> スキンズも買っちゃって、来週の道路に向け、学習もがんばります。→ガンバレ!!			



写真は産学ラフティング・プチこもれび祭のヒトコマ。寮長&生徒会副会長業務、お疲れさま！！



今週のSNAP!



12/2 (水): 2学期期末考査2日目のスナッフ

放課後、卒業アルバム用の撮影会も行いました(^_^)!



はてさて、テストの出来や如何に!? アルバム用の集合写真は、こんな感じで撮れました!!

<来週の予定> ※50分授業再開2週目! 産学スキーも本格始動!!

12/7 (月)～11 (金) 4H通常授業

※8 (火) 3年進路講話、9 (水) スキー部全道壮行会、

11 (金) 3年生の話を聞く会有

※産学富良野スキーは、「月・金＝スキー班、火・水＝スキー上級班、木＝全校」の予定

☆待望の冬休みまで、あと2週間+α。Fight～(^_^)v